

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立鶴見区老人福祉センター
施設所管課・担当	福祉局高齢者施策部高齢福祉課(電話:06-6208-8054)
条例上の設置目的	高齢者に関する各種の相談に応じ、高齢者に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与するとともに、高齢者の地域福祉活動を支援することを目的とする。
業務の概要	高齢者の生活に関する相談・高齢者の健康の増進及び地域福祉活動に関する情報の収集及び提供・講演会、講習会及び教養講座の開催・高齢者のレクリエーション活動の機会の提供・高齢者の地域福祉活動その他自主的活動の支援。
成果指標	センター利用者向け実施する満足度調査で、「満足と回答される方」の割合
数値目標	84.6%以上(26ある老人福祉センターで実施(H30年度～令和2年度)したアンケートの平均)
指定管理者名	社会福祉法人大阪市鶴見区社会福祉協議会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日
評価対象期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	満足と回答される方の割合
数値目標	84.6%
年度実績	91.7%
達成率	108.4%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	54,659	31,635	23,024

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	18,011,000	18,030,000	0	—
	計画	18,011,000	18,030,000		
その他	実績	516,411	324,600	-83,589	—
	計画	600,000	600,000		
合計	実績	18,527,411	18,354,600	-83,589	—
	計画	18,611,000	18,630,000		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	12,761,034	13,621,366	-538,966	常勤職員の減及びアルバイトの合理的配置による減。
	計画	13,300,000	14,100,000		
物件費	実績	5,766,377	4,123,860	455,377	設備修繕経費等の増。
	計画	5,311,000	4,530,000		
合計	実績	18,527,411	17,745,226	-83,589	—
	計画	18,611,000	18,630,000		

令和4年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価(1次評価)

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
アンケート調査で「満足と回答される方」の割合	108.4%	B	感染症による影響がある中で、本市が定める水準を達成している。

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・アルバイトの合理的配置による経費節減。	B	設備の修繕などがあったが、アルバイトの合理的配置を行うなど、市費の縮減に努めた。

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	<ul style="list-style-type: none"> ・建築物や設備の法定点検を適切に行っている。 ・消防署と連携した消火等訓練を複数回実施することにより利用者の安全管理を図っている。 ・感染症対策のため、手指消毒などの対策を実施している。
事業計画の実施状況	B	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症による影響により、センター内での活動にためらいを感じる利用者に対し脳トレプリントの配布を行うなど、工夫しながらセンター運営に努めている。
施設の有効利用	B	<ul style="list-style-type: none"> ・区行政連絡調整会議及びボランティア・市民活動センター運営委員会などに参画することにより、地域関係団体等と連携している。
社会的責任・市の施策との整合性	B	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護規程などを定め、個人情報の保護を行っている。 ・環境保護対策として、環境美化のため花卉育成を行うなど実効性のある取組を行っている。

令和4年度 指定管理者年度評価シート

5 利用者ニーズ・満足度等

(1)調査方法
センター利用者に対してアンケート調査を実施

(2)回答者192人(未記入者含む)

(3)質問項目
ア 基本的な事項(年齢、居住区等)
イ 満足度
ウ 感染症による影響、所持している電子機器等

(4)結果
・総合満足度において、満足(やや満足)と回答される方が91.7%となっており、利用者の満足度は非常に高い。

6 外部専門家意見

1 一般的に用いられているInstagramやフェイスブック、LINEをセンターでも当たり前にご利用している点は評価でき、他のセンターの参考となる取組である。

2 若い高齢者が来館するために、何かしようという想いがあり、また実際に工夫も行いながら実行に移している点は評価できる。

3 センターだよりについて、よりわかりやすいものとなるようQRコードの掲載や活動内容の掲載を検討していただきたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、休館した期間や感染対策を十分に行うことができない活動は自粛する等の影響があったものの、事前に設定した目標を超える成果があった。
市費の縮減	B	事業計画に基づき、効率的に管理運営を実施した。
管理運営の履行状況	B+	<p>センターの各種情報や取組みが利用者だけでなく、地域住民等にも広く届くよう、Instagramやフェイスブック、LINEを利活用している点は、外部専門家からも評価されているところであり、次代の利用者層である若年高齢者へのセンター利用のきっかけづくりとしても有効である。また、昨今の行政方針を踏まえ、高齢者が気軽にスマホ等に接することができるよう、センターのWiFi環境を整備するなど、高齢者へのICTの普及促進にも積極的に取り組んでいる。</p> <p>さらに、利用者がセンターで楽しむだけではなく、地域でも活躍していただけるよう、指導者としての人材育成にも取り組んでいる。育成された人材を活用して、各地域への出前講座を積極的に展開したり、年齢にとらわれず全世代が参加できる世代間交流事業を実施したりするなどによりボランティア活動の支援にもつながっている。</p> <p>このように様々な工夫を凝らしながらセンターの運営を行っている点は大いに評価できるものである。</p>
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	本市が期待する管理運営を行った。